

ひぐち 旧樋口家

福島県指定重要文化財（平成19年4月6日指定）

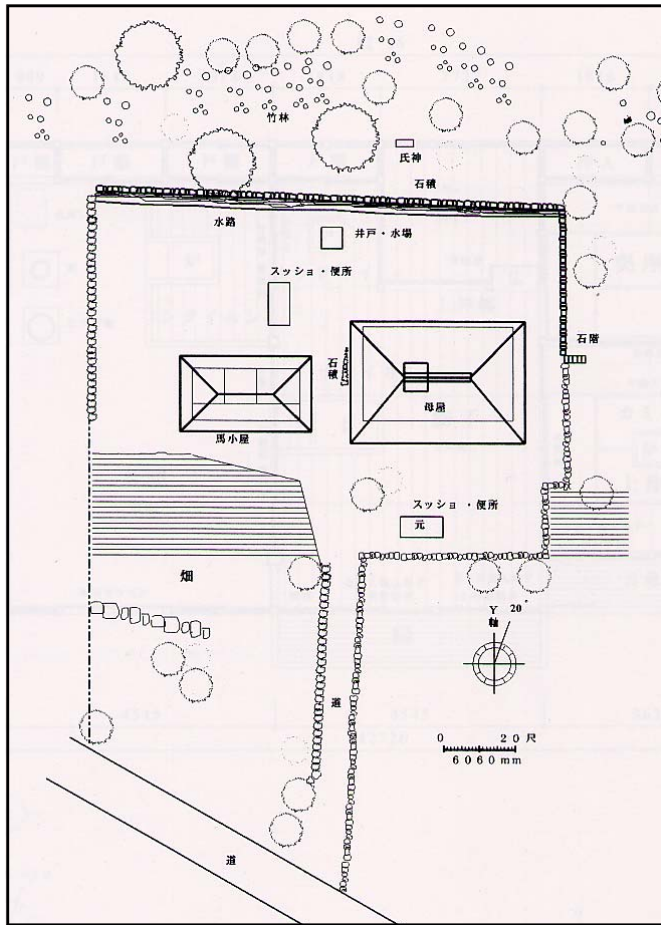
旧所在地	いわき市遠野町入遠野字中野
建築年代	江戸時代後期
面積	100.25㎡(30.38坪)
最高高	7.60m(煙出しまでの最高高)
構造	木造、寄せ棟造り、平屋、茅葺
解体	昭和61年
移築保存	平成10年

- ・養蚕や和紙の生産を行っていました。（広間に蚕を育てる蚕棚や養蚕道具を展示）
- ・この家の広さは、江戸時代後期の一般農家の平均的な広さです。（30坪前後）
- ・土間の「こうぞカマド」は、和紙の原料の「こうぞ」を煮るためのカマドです。
- ・梁組は手斧（ちょうな）で削られ、木の曲がりをもそのまま活かして組まれています。
- ・土間にあるカマド柱は古い民家の造りを表しており、炊事用具などを掛けておきます。

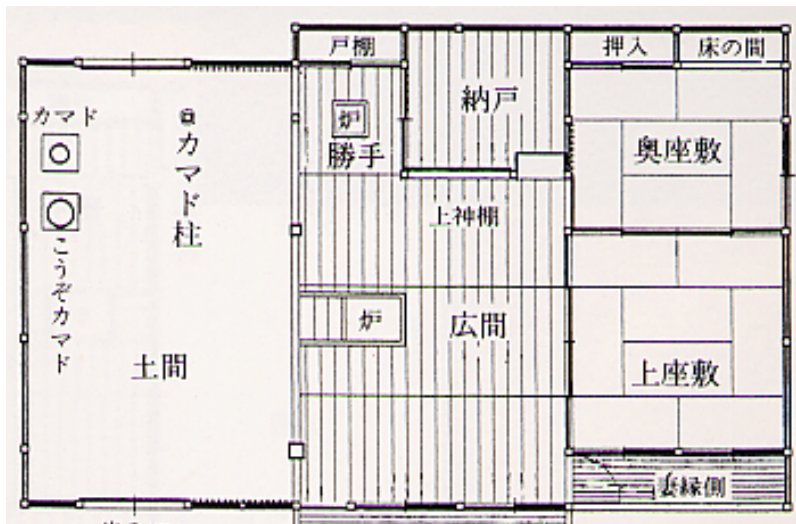
*土間は農作業などを行う場所です。時代が新しくなるにつれて、作業のやりやすさを考え、土間に柱を立てないような構造面での工夫がなされるようになってゆきます。



旧樋口家



移築前配置図



間取り図